

住 所 名古屋市中区金山町1丁目1番1号
法人名 公益財団法人名古屋国際芸術文化交流財団

平成30年度事業計画書

I. 名古屋ボストン美術館の運営に関する事業

(愛知県民に米国ボストン美術館の世界的コレクションや国内美術館の名品を鑑賞する機会を提供する事業)

1. 展覧会事業

(1) 展覧会の開催

【平成30年度開催の展覧会】

- ① 「ボストン美術館の至宝展 東西の名品、珠玉のコレクション」
平成30年2月18日(日)～平成30年7月1日(日) (平成29年度から継続)
- ② 「名古屋ボストン美術館 最終展 ハピネス ～明日の幸せを求めて」
平成30年7月24日(火)～平成30年10月8日(月・祝)

(2) 展覧会の企画及び準備

・平成30年度開催展覧会の企画・準備作業(米国ボストン美術館との協議を含む)

2. 教育普及事業および情報提供事業

(1) 教育普及事業

- ① 展覧会にかかわる図録・音声ガイド・映像ソフト制作
- ② 開催展覧会に合わせた鑑賞用資料の制作
- ③ 開催展覧会に関連したプログラム(ギャラリーガイド、幅広い層向けのプログラム等)の実施
- ④ 米国ボストン美術館と連携した教育普及イベントの実施
- ⑤ 大学等教育機関および他美術館との協力事業の企画・実施・参画
- ⑥ 視覚障がい者のための教育活動
- ⑦ 展示作品のデータベース化/展示作品情報の整理・活用
- ⑧ 図書コーナーの活用
- ⑨ 館内マナーアップ啓発活動の実施
- ⑩ 近隣を中心とした国内美術館との展覧会図録、紀要等の資料交換
- ⑪ 活動記録の制作・発信

(2) 情報提供事業

- ① チラシ、ポスター、プレスリリースの制作・配布
- ② インターネットによる情報発信の強化(ホームページ、SNS(Facebook ページ)、メールマガジン等)
- ③ 美術館ニュースの発行
- ④ 関係機関と連携し、展覧会に関連する情報を提供

3. 調査研究

以下の項目について、関連する機関(美術館、博物館、大学、学校等)の専門家と連携しながら進める。

- ① 展覧会開催のための調査研究
- ② 美術品の保存に関する調査研究
- ③ 教育普及事業充実のための調査研究
- ④ 展覧会開催、調査研究に必要となる図書資料の収集・整備
- ⑤ 関連機関開催の研修会等への参加

4. 広報宣伝および販促活動の強化

(1) 展覧会別の施策

各展覧会のテーマ・特色を分かりやすく、正確に伝え、様々なイベントにより集客に繋げる。

- ① 主催メディアを含むマスコミとの連携による広報活動(新聞広告、CM 等)の強化と取材依頼の継続
- ② 関連イベントの企画立案とタイムリーな実施
- ③ GW や夏休みなどの集客対策
- ④ インターネット(ホームページ、SNS、メールマガジン)による情報発信
- ⑤ 他館との共同企画や販促活動

(2) 媒体別の施策

- ① テレビ
 - ・展覧会主催局や協力局などを通じた CM 情宣、開会式取材によるニュースでの告知、番組での紹介を推進
- ② 新聞・雑誌
 - ・展覧会の主催、共催新聞社への広告や記事の掲載。各展覧会と新聞社等マスコミとの連携やイベントの告知
- ③ 交通広告
 - ・各交通機関等の協力による主要駅・車内でのポスター掲出、チラシ設置

- ④ WEB サイトの充実
 - ・展覧会の見どころ紹介、イベントの告知・募集情報など関連情報の発信
 - ・米国ボストン美術館の情報提供
 - ・SNS、ブログなどによる関連情報の発信
- ⑤ その他
 - ・記者クラブ(月1回)における展覧会や各種イベントの情報提供

(3) 外部団体等との連携

- ① 団体関係
 - ・美術館友の会、文化センター等へのサービス、事前案内、資料配布などのPR強化
- ② 学校関係
 - ・愛知県下公立小中学校教員への特別鑑賞期間の実施
 - ・市内校長会・私立小中学校等への展覧会周知並びに校外活動としての美術館訪問推進
 - ・学校法人賛助会員向け特別鑑賞会の実施
 - ・高校生料金の一部無料化
- ③ 近隣施設との連携
 - ・近隣美術館、名古屋市関係施設等他施設とのポスター、チラシ相互設置
 - ・市内観光案内所等へのチラシ、ポスター掲示による集客対策
 - ・名古屋観光コンベンション、近隣ホテル、商店街、団体、事業所等との集客施策、共同イベントの開催

(4) 販売活動の強化

- ① 愛知県の近隣地区(日帰り圏内)へのPR及びセールス強化
対象地域:岐阜、三重、静岡(静岡以西地区)、北陸圏、関西圏
- ② 旅行代理店、運輸会社への団体・企画募集誘致の為の訪問セールス強化

5. 寄附・賛助金募集活動

閉館に伴う個人メンバーシップ、法人賛助会制度の円滑な終息手続。

- ① 個人メンバーシップ
 - 会員数 : 2,600名 (平成30年10月8日見込み)
- ② 法人賛助会員
 - 加入口数 : 120口 (平成30年10月8日見込み)

6. 管理運營業務の一層の堅実化と効率化

- ① 入館者が安心して、また安全に作品鑑賞できるための保守・警備体制の確立
- ② 警備員との連携、警備システムの充実による作品保護の体制堅持
- ③ 展覧会制作・設営スケジュール・搬送作業の効率化によるコスト抑制
- ④ 業務見直し等による効率化、経費支出のより一層の圧縮

7. 閉館に向けた財団・美術館の取り組み

(1) 財団・美術館の資料の保存

- ・美術館としての軌跡を残すため、過去の展覧会の記録・印刷物を載せた冊子「名古屋ボストン美術館 20 周年記念誌」を制作し、関係各所に配布
- ・公式文書や希少な文書等、財団の歴史を後世に残すための書類の電子データ化

(2) 閉館に向けた情報発信、最終展覧会に関わるイベントの実施

- ・最終展覧会の広報戦略と合わせ、閉館へ向けての活動の実施と、最終展覧会開会式、20 周年感謝レセプション、閉館式等イベントの完遂

(3) 閉館後の文化的遺産継承

- ・ボストン美術館の展覧会の名古屋誘致について協力関係の構築
- ・文化交流事業の継承、書籍等の寄贈、展示ケースなど財団所有の美術館設備の移譲など

II. 国際的な芸術文化に接する機会を提供する事業

米国ボストン美術館と連携した日米アート交流プログラムや、教育普及イベント等について積極的に実施。

III. 地域文化の振興を図るため、シンポジウム、講演会等を開催する事業

展覧会開催のタイミングに合わせた各種講演会、レクチャー等を積極的に実施。

IV. 財団財務基盤強化のための事業

財団資金の効率的な運用強化と安全性の確保

- ① 財団の終息に向けた運用資金の管理
- ② 米国ボストン美術館宛て米ドル建て実需の範囲内での外貨運用を実施

V. その他事業

売店(ミュージアムショップ)事業(委託)の販売促進、運営の安定化

- ① より魅力的な定番商品として名古屋ボストン美術館オリジナルグッズや、展覧会ごとに企画するオリジナルグッズの商品開発、米国ボストン美術館にしかないオリジナルグッズの輸入による品揃えの充実
- ② 関連書籍や名画をモチーフしたグッズ、オリジナルポストカードなど、美術館ならではの幅広い商品展開
- ③ その他、パーソナルギフトや夏休みなど、シーズンに合わせたイベント関連商品の提案
- ④ 財団と委託先(名鉄百貨店)との間での経営協議会、運営協議会の定期開催

以上